

## 奥秩父 入川 真ノ沢

福永

【日時】 2010年7月18日（日）～7月19日（月）

【メンバー】 L 浅井、石井、吉岡、福永

当初、東北の葛根田か南アルプスでの2泊の計画であったが、天候不安定により奥秩父に転進となった。海の日の3連休を新人山行に充ててくれた先輩方に感謝したい。

7月18日（日）

梅雨明けの奥秩父は青空が広がっていた。A・Bパーティ7名で入川林道から森林軌道跡をしばらく歩く。赤沢谷出合で女性2人組が先行するのを見た。我々も入川本流へ入った。水量が多く水の流れも早いので先日の渡渉訓練で教わったことを嘯みしめながら右へ左へと渡る。激流を飛び越えられず高巻いていたらAパーティと離れてしまった。これでは真ノ沢に辿りつく前にタイムアップになりそうなので林道へ戻ることにした。高度差200mを一気に入川林道へよじ登り、ここで結構体力を消耗した。綺麗な柳小屋周辺では、真夏の太陽を浴びながら大休止をとる。今も入川本流を遡行しているであろうAパーティへ念のためメモを残し真ノ沢へ入渓した。30分も歩くと最初のゴルジュで左岸を巻いた。その直後、冷たい水のせいかわたがた疲労がたまっていたのか右足の脹脛をつってしまった。足を休めている間に石井さんが釣り糸を垂れるもここには魚が居ないようにあった。二つ目のゴルジュは右岸を巻いた。武信白岩沢出合の先に千丈ノ滝が見えてきた。滝の直下まで行き記念写真をパチリ。千丈ノ滝は右岸に真ノ沢林道が通っており、そこを簡単に巻く。ここまでくれば木賊沢出合まであと少しということで、今日の幕場を物色しながら歩く。奥秩父らしく苔生した台地がそこここにあり焚火のあともいくつも出てきた。最適であろう場所を今夜の幕場とした。石井さんの特製カレーに幕場で釣ってくれた2匹の岩魚の塩焼き、浅井さんのソーセージ焼、吉岡さんのしゃぶしゃぶ餅ホタテのせなど、程良い疲労感に包まれながら贅沢な時間を過ごした。20：30就寝。

7月19日（月）

4、5、6といわれていたのに、もたもたしていたら出発6：20と出遅れてしまった。10分も歩くと木賊沢出合に到着する。沢の





中は倒木が多く台地状の兩岸の森を歩く。5m程の滝は右岸を巻き、2段5mの滝は左岸を巻いた。ナメ滝が出てくると、水しぶきを浴びながら気持ちよく直登できる。三宝沢出合を過ぎると5mの滝。ここは左岸を大きく高巻いている跡があったが、石井さんがフリーで突破してくれたので滝の右側をロープで登る。その後の10mの滝は階段状になっており問題なく登れた。くぐったり、またいだり、歩いたり倒木の多さに辟易しているとふと兩岸切り立つ岩盤帯が出てきたり、不思議なキノコを発見したりと気を紛らわしながら歩く。ようやく荒川源流点の二股に到着した時は嬉しかった。ここから小屋までは山道で15分。小屋に挨拶すると料理長Kさんがお茶をふるまってくれた。ビールがこの3連休で売れてしまい明日ポッカに行くといっていた。標高2400mでも日中はTシャツで十分な暖かさだった。戸渡尾根を下山開始。途中で富士山や金峰、国師が良く見えた。徳ちゃん新道を一気におりて14:30、賑やかな西沢溪谷に到着した。Aパーティより30分遅れてしまったが大滝温泉で合流。小鹿野にあるわらじカツ井で満腹になり帰途についた。沢登りというより、苔生した森歩きという時間が長かったが、真夏の奥秩父は緑濃く水も豊富で大満足の山行となった。

【グレード】2級

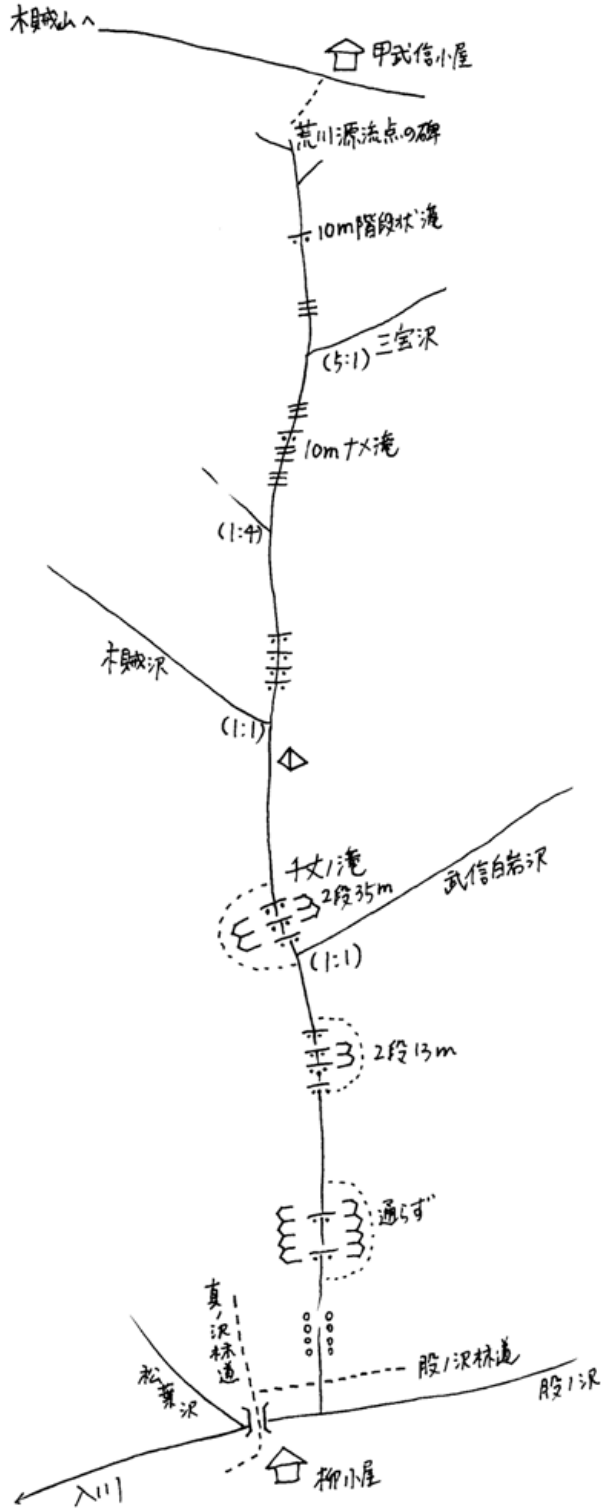
【地形図】中津川・雁坂峠・金峰山

【行程】

7/18 入川林道(6:25)～赤沢谷出合(7:25)～柳小屋(11:30～12:00)股の沢出合(12:10)～千丈ノ滝(15:00)～木賊沢出合付近C1(15:30)

7/19 C1(6:20)～三宝沢出合(8:20)～荒川源流点の碑(10:00～10:25)～甲武信小屋(10:45)～西沢山荘(14:10)





真1沢  
2010.7.18-19  
福永明子